

水道だより（第1回）

長野県 飯島町 建設水道課水道係

～いいじまの水がごちそう
豊かな未来へつなぐ～



～ 令和6年10月 ～

目 次

1. はじめに	・・・	1
2. 給水状況	・・・	2
3. 漏水状況	・・・	2
4. 水道管の状況	・・・	5
5. 水道施設の維持・管理状況	・・・	6
6. 水道の運営状況	・・・	7



「水道だより」はじめました！

飯島町の水道の現状や課題を多くの方々に知ってもらうために、水道だよりのホームページ連載をはじめました。

1. はじめに

日常生活になくてはならない水道ですが、安心・安全な水を提供するためには、非常に多くの費用がかかっています。

水は川や谷など身近なところにありますが、これらの水は浄水場などの水道施設できれいにしてから、安全な水として皆さんにお届けしています。

今回のテーマは「飯島町の水道の現状」

2. 給水状況

現在、飯島町では上水道事業として町内全域の3,769戸(R5.3現在)に水道水を供給しています。天竜川西側の地区は樽ヶ沢(たるがさわ)浄水場、東側の日曽利地区は日曽利浄水場より給水を行っています。

また、令和4年7月から、中川村の片桐地区へ用水供給を行っており、現在の給水量は計画の約30%です。（計画:1日当たり800m³）

3. 漏水状況

水道管のトラブルは全国各地でおきています。

飯島町では漏水による大規模なトラブルは起きていませんが、小規模な漏水は年に数回発生しています。

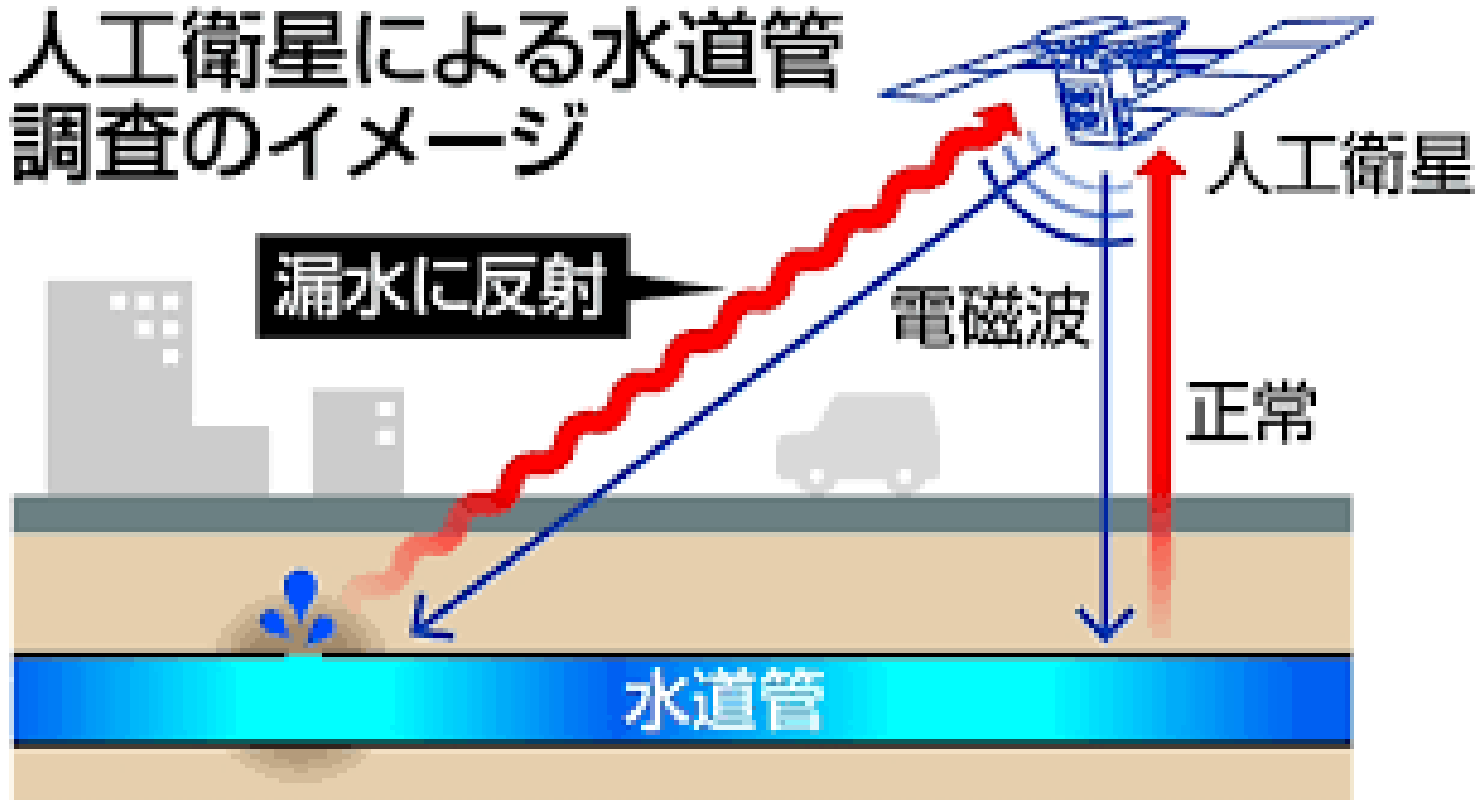
漏水の発生件数と有収率は次のとおりです。

▷漏水発生件数と有収率

年度	漏水発生件数 (件)	有収率 (類似団体平均) (%)
令和元年度	9	78.41 (78.09)
令和2年度	9	80.87 (78.01)
令和3年度	8	81.13 (77.60)
令和4年度	3	79.73 (77.30)
令和5年度	6	76.30 (集計中)

漏水は、家の中での漏水（給水管）と道路の下で発生する漏水（本管）があります。特に本管の漏水は、年間で平均7件ほど発生していて、急な断水や水の濁り等でご迷惑をおかけしています。原因は老朽化によるものがほとんどです。漏水は地中でも発生していて、目視での場所の特定は難しいため、令和6年度人工衛星を活用した調査を実施しています。

人工衛星による水道管 調査のイメージ



仕切弁フランジ部の漏水



導水管の漏水箇所修理中

4. 水道管の状況

水道管の寿命は40年といわれています。今、全国で水道管の老朽化が問題になっています。

飯島町内にも40年以上前に埋設された管が多く残り、かなり老朽化が進んでいると思われます。また、古い管は大きな地震の揺れには耐えられないため、災害等発生時には被害の拡大と長期化が懸念されます。町内には149.2 kmにおよぶ水道管が埋設されており、下水道工事とともに更新を行ってきているものの、すべてを更新するには莫大な費用と時間がかかります。

▷令和5年度末 更新率：85.3%・残り21.9 km



5. 水道施設の維持・管理状況

飯島町は2つの浄水場があり町内全域と中川村片桐地区への水道用水供給を行っています。今後人口減少によって給水量は少なくなり、使用料金収入も減少すると思われますが、主要施設はこれからもすべて維持管理する必要があり、施設内の機器、設備の更新も進めなければなりません。

また、樽ヶ沢浄水場は建設から50年が経過し、耐用年数を迎えつつあり老朽化と耐震性の懸念があることから、建替えなど施設更新が喫緊の課題となっています。

▷主要施設と施設内にある機器、設備

施設	箇所数	機器・設備等
水源	3	取水ポンプ、揚水ポンプ等
浄水場	2	浄水設備、流入弁、流量計、濁度・水位・残塩計、薬注設備、テレメータ、制御盤、自家発電装置等
配水池	7	水位計、流量計、テレメータ、緊急遮断弁等
減圧施設	12	減圧槽、減圧弁

6. 水道の運営状況

現在、経営は黒字となっています。毎年水道使用料収入と借入金をやりくりして維持管理や管路施設の更新などを行っています。

今後、人口の減少によって収益が減り、赤字経営に反転することもあると考えられる中で、浄水場の建て替えや管路、配水池等の更新など行う必要があります。将来にわたり持続可能な経営を行うために、どのような運営を行っていくかが飯島町の課題です。

